

I 施設の概要		施設コード	S07-02-01	
施設名	清掃リサイクル事務所			
所在地	町屋五丁目19番1号			
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)	
			国・都	区債 一般財源
	建築	昭和45年7月 (旧館)	219,907	
	増改築①	昭和61年3月 (新館)	-	
	増改築②			
併設施設				
竣工年月日	昭和45年7月		区職員	その他
供用開始年月日	昭和45年7月	職員数	79人	
構造	鉄筋コンクリート造	階層	新館: 地上3階	旧館: 地上4階
面積	敷地面積	1,855 m ²		
	延床面積	新館: 735.85m ² 旧館: 1082.75m ² m ²		
設置目的・経緯	廃棄物の収集・運搬等の作業 ※清掃事業の区移管 (平成12年4月)			
関連部署	環境課			
根拠法令等 設置条例	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 荒川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例等			
駐車場の状況	有	バリアフリー	○ エレベーター	● トイレ
駐輪場の状況	有	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ



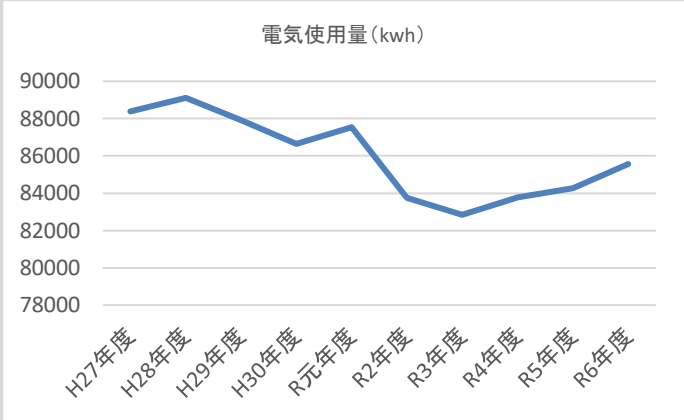
管理形態	直営	—	期間	—	から まで	
事業内容	廃棄物の収集・運搬等の作業、清掃車両駐車スペース、清掃リサイクル業務従事職員の執務室・来庁者対応窓口等					
対象者	清掃リサイクル推進課職員、区民・事業者					
運営時間等	運営時間	午前7時40分～午後5時15分				
	休日	日曜日、年末年始の指定日				
施設基本データ等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（見込み）
	作業（開所）日数（日）	310	310	310	310	310
	電気使用量（kwh）	82,842	83,787	84,275	85,557	—
	ガス使用量（m3）	32,202	33,858	33,662	36,501	—
	水道使用量（m3）	5,991	5,883	6,134	7,075	—
に指定 用等管理 費						
備考	電気、ガス、水道の使用量はほぼ横ばいである。					

行政コスト計算書	勘定科目		R5年度	R6年度	差額	勘定科目		R5年度	R6年度	差額
	行政費用	給与関係費	600,741	605,085	4,344	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	23,118	24,537	1,419		国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	1,066	1,162	96		都支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	0	0	0		使用料及び手数料	159	162	3
		減価償却費	5,147	5,519	372		その他	131	114	▲ 17
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	290	276	▲ 14
		賞与・退職給与引当金繰入額	95,750	55,705	▲ 40,045		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 725,532	▲ 691,732	33,800
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
行政費用合計(b)		725,822	692,008	▲ 33,814	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 725,532	▲ 691,732	33,800	
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 725,532	▲ 691,732	33,800	
貸借対照表	勘定科目		R5年度	R6年度	差額	勘定科目		R5年度	R6年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		34,114	34,947	833
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0
	固定資産	有形固定資産	396,720	391,936	▲ 4,784		賞与引当金	34,114	34,947	833
		土地	326,611	326,611	0		その他の流動負債	0	0	0
		建物	278,181	278,181	0	固定負債	642,541	613,824	▲ 28,717	
		建物減価償却累計額	▲ 208,072	▲ 212,856	▲ 4,784	特別区債	0	0	0	
		工作物等	3,749	3,749	0	退職給与引当金	642,541	613,824	▲ 28,717	
		工作物等減価償却累計額	▲ 3,749	▲ 3,749	0	その他の固定負債	0	0	0	
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	676,655	648,771	▲ 27,884	
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲ 278,083	▲ 254,279	23,804	
	その他の固定資産	1,852	2,556	704	正味財産の部合計	▲ 278,083	▲ 254,279	23,804		
	資産の部合計		398,572	394,492	▲ 4,080	負債及び正味財産の部合計		398,572	394,492	▲ 4,080
	備考 「物件費」は施設の管理運営、「維持補修費」は施設の修繕等に係る経費である。行政収入の「使用料及び手数料」は、労働組合事務室等の使用料で、「その他」は自動販売機等の電気等使用料及び軽小型貨物車の廃車に伴う自動車重量税の還付金である。「その他の固定資産」は重要物品(清掃車両等)の減価償却後の現在価格である。									

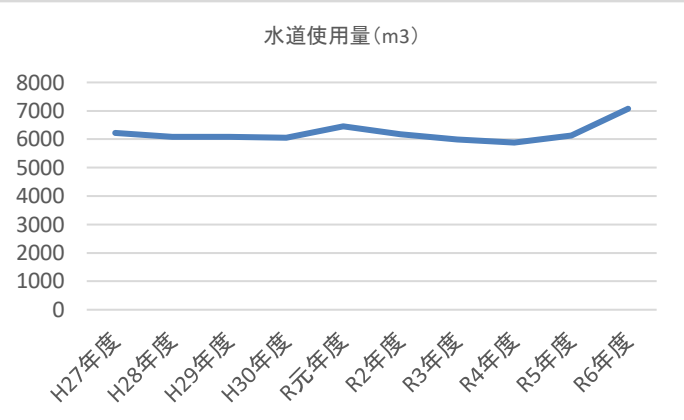
	指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	81	73	75.1	76.8	
	1㎡あたりコスト（円）	397,240	341,170	399,110	380,517	
備考	コスト（行政費用）について大きな変動はないが、減価償却率は改修工事等により変動する。					

IV 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有（計画名： ）					
目標指標	指標名・単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		目標値				
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	実績値				
		○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止				
管理形態の変更の推移	○ 有（変更内容： ） ● 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○他の公共施設に比べ経過年数の長い施設であり、引き続き大規模改修を計画的に実施するとともに、予防保全の観点から不具合が発生しないよう、修繕等を計画的に実施する必要がある。 ○廃棄物収集・運搬に係る区職員の減少に伴い、代替となる雇上会社清掃車両等の駐車スペースが、将来的に不足する可能性がある。					
課題に対する現時点での考え	○公共施設等総合管理計画等に基づく計画的な大規模改修を実施するとともに、施設・設備の保守点検等の維持管理を適切に実施するほか、修繕等により機能保全を継続する。 ○南千住清掃車庫の有効活用を図り、清掃車両等の待機スペースの確保に努めていく。					
議会、利用者等からの意見						



電気使用量はほぼ横ばいである。



水道使用量は横ばいである。

令和7年度 施設分析シート

I 施設の概要	施設コード	S07-02-02
---------	-------	-----------

施設コード	S07-02-02
-------	-----------

S07-02-02

施設名	南千住清掃車庫					
所在地	南千住四丁目1番8号					
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
			国・都	区債	一般財源	
	建築	平成12年2月	380,197			
	増改築①					
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日	平成12年2月			区職員	その他	
供用開始年月日	平成12年4月		職員数	4人		
構造	鉄骨造		階層	管理棟:地上3階 洗車棟:平屋		
面積	敷地面積		1,900㎡			
	延床面積		管理棟:994.80㎡ 洗車棟:123.52㎡			
設置目的・経緯	廃棄物の収集・運搬に使用する有蓋車両の駐車・点検整備等 ※清掃事業の区移管(平成12年4月)					
関連部署	環境課					
根拠法令等 設置条例	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 荒川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例等					
駐車場の状況	有	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ		
駐輪場の状況	有	対応状況	●点字ブロック	○スロープ		



Ⅱ 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から まで	
事業内容	廃棄物の収集・運搬に使用する清掃車両駐車スペース、清掃車両の点検整備・洗車業務、清掃リサイクル業務等従事職員の執務室等					
対象者	清掃リサイクル推進課職員、区民・事業者					
運営時間等	運営時間	午前7時40分～午後4時25分				
	休日	日曜日、年末年始の指定日				
施設基本データ等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（見込み）
	作業（開所）日数（日）	310	310	310	310	310
	電気使用量（kwh）	95,961	93,809	86,167	73,385	—
	ガス使用量（m3）	7,118	6,902	6,301	2,946	—
	水道使用量（m3）	1,943	1,902	1,852	1,427	—
に指定 用等 管理 費理						
備考	電気、ガス、水道の使用量はほぼ横ばいである。					

Ⅲ財務諸表 (単位：千円)

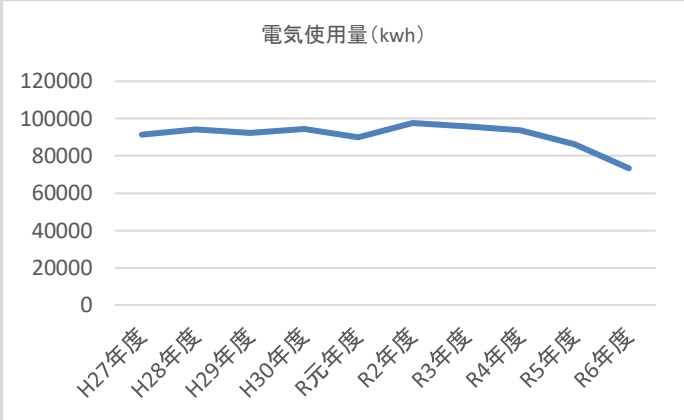
(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		R5年度	R6年度	差額	勘定科目		R5年度	R6年度	差額
	行政費用	給与関係費	52,299	55,745	3,446	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	7,547	8,816	1,269		国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	119	8,640	8,521		都支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	0	0	0		使用料及び手数料	75	75	0
		減価償却費	14,435	14,951	516		その他	73	58	▲ 15
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	148	133	▲ 15
		賞与・退職給与引当金繰入額	8,336	5,132	▲ 3,204		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 82,588	▲ 93,151	▲ 10,563
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
行政費用合計(b)		82,736	93,284	10,548	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 82,588	▲ 93,151	▲ 10,563	
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 82,588	▲ 93,151	▲ 10,563	
貸借対照表	勘定科目		R5年度	R6年度	差額	勘定科目		R5年度	R6年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		2,970	3,220	250
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0
	固定資産	有形固定資産	853,513	849,755	▲ 3,758		賞与引当金	2,970	3,220	250
		土地	733,400	733,400	0		その他の流動負債	0	0	0
		建物	424,169	435,362	11,193	固定負債	55,938	56,551	613	
		建物減価償却累計額	▲ 304,056	▲ 319,007	▲ 14,951	特別区債	0	0	0	
		工作物等	64,856	64,856	0	退職給与引当金	55,938	56,551	613	
		工作物等減価償却累計額	▲ 64,856	▲ 64,856	0	その他の固定負債	0	0	0	
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	58,908	59,771	863	
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	794,605	789,984	▲ 4,621	
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	794,605	789,984	▲ 4,621		
	資産の部合計		853,513	849,755	▲ 3,758	負債及び正味財産の部合計		853,513	849,755	▲ 3,758
備考	「物件費」は施設の管理運営、「維持補修費」は施設の修繕等に係る経費である。行政収入の「使用料及び手数料」は敷地内へのマンホール・電柱の占用に係る使用料で、「その他」は自動販売機・コミュニティバス乗務員控室の電気等使用料である。建物資産の増は外壁改修工事によるものである。									

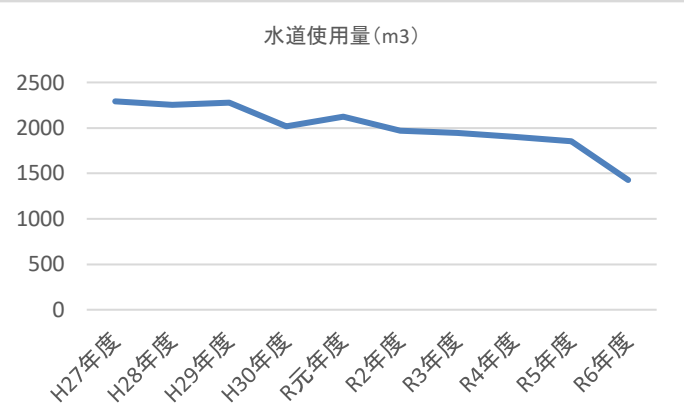
	指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	74	74	75.4	76.7	
	1㎡あたりコスト（円）	85,701	77,992	73,982	83,414	
備考	コスト（行政費用）について大きな変動はないが、減価償却率は改修工事等により変動する。					

IV 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有（計画名： ）					
目標指標	指標名・単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		目標値				
		実績値				
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他（ ）					
管理形態の変更の推移	○ 有（変更内容： ） ● 無					
利用者・地域のニーズ	地元町会への施設開放等					
現状・課題	○竣工から約25年が経過し、引き続き大規模改修を計画的に実施するとともに、予防保全の観点から不具合が発生しないよう、修繕等を計画的に実施する必要がある。 ○保有清掃車両台数及び職員数の減少に伴い、施設のさらなる有効活用を検討していく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○公共施設等総合管理計画等に基づく計画的な大規模改修を実施するとともに、施設・設備の保守点検等の維持管理を適切に実施するほか、修繕等により機能保全を継続する。 ○感染防止対策・熱中症対策を目的とした雇上会社清掃車両等の待機場所としての活用を継続し、今後、リサイクル関連物品の保管スペースや将来的な清掃リサイクル事務所における駐車スペース不足への対応等、さらなる有効活用を検討していく。					
議会、利用者等からの意見						



電気使用量はほぼ横ばいである。



水道使用量はほぼ横ばいである。

	指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	22	26	30.6	35.0	
	1㎡当たりコスト（円）	63,801	58,292	60,069	63,678	
	人にかかるコストの割合（％）	30	29	31.2	29.6	
備考	1㎡当たりのコスト及び人にかかるコストの割合は、ほぼ横ばい状態で推移している。					

IV 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: 整備計画)						
目標指標	指標名・単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
	団体来場者数	目標値	1,600	2,100	2,200	2,300	2,400
		実績値	1,947	1,693	2,383	2,341	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()						
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	区内におけるリサイクルの啓発活動の拠点となることが求められている。						
現状・課題	○中間処理行程の見学やリサイクル工房での体験を通して、来場者に３Ｒ（リデュース・リユース・リサイクル）への関心を持ってもらう機会を提供する施設となっている。 ○通年実施の工房のほか、夏休み等の時期に子ども向け工房を実施し、好評を得ている。令和２～４年度は感染症拡大防止のため定員を縮小するなどして実施した。その後は感染症の状況を注視しながら従前の定員に戻すなど参加者増を図っている。 ○来場者は、南千住地域からの割合が多いため、区内の各地域からの来場者拡充を図る工夫が必要である。 ○資源の中間処理を長期的に持続可能な状態とするため、施設を安定的に稼働することが必要である。						
課題に対する現時点での考え	○今後はリサイクルセンターを、様々な形で区の３Ｒ推進に協力いただける「３Ｒリーダー」の発掘・育成の拠点として活用していく。 ○地域の様々なイベントや団体と連携し、リサイクルセンターのＰＲと普及啓発に努める。 ○区内他地域を対象としたバス見学会等の実施を検討する。 ○資源の中間処理施設として、引き続き安定稼働できるよう運営・管理を行う。						
議会、利用者等からの意見	平成２８年度建設環境委員会 「普及啓発の拠点としての活用」						